



おはようロスアンゼルス

倫理研究所 U. S. A. 南カリフォルニア倫理の会

11月号会報

2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504

Fax: (310) 323-6737

2014年(平成26年) 11月1日(土)

NO. 159

ガーデナ市

クリーンアップデー

九月二十日(土) 恒例の年一回ガーデナ市清掃に参加しました。

朝八時十五分に集合致しまして Normandy Ave から Vermont Ave の方に Gardena Street を両サイドに分かれて掃除しました。この通りはほとんどがメキシコ系の店舗でした。自分のお店の前ぐらい各自が掃除したら良いのと思うほど汚れていました。ゴミを集めたビニール袋が沢山出来ました。

三時間半かかり十一時四十五分頃やっと終わることが出来ました。少し前の猛暑でしたらとても辛かったと思います。暑さのおさまった気持ちの良い日で幸いでした。

その後近くの HIKAI PARK でタコ中心のランチを好きなだけ食べさせて頂きました。お腹がぺこぺこでしたのと、体を動かした後でしたのですごく美味しかったです。タコがこれ程美味しく感じたのは始めてでした。

その席上で倫理のボランティアに対して立派な賞状(証書)を頂きました。

何か私達でもお手伝いするところが出来たと思いましたが嬉しくなりました。来年も参加させてもらいます。
(藤間富士子記)



Save the date

二〇一五年三月八日(日)
倫理文化講演会

相馬紀子監事ご出張日程

十月三十一日(土)

午後六時半

倫理ビジネスネットワーク

「私と家庭倫理の会山形」

十一月一日(土)

午前十時~十二時

純粹倫理勉強会

「丸山竹秋会長の足跡」

「気づいたらすぐに行く」

十一月二日(日)

午前八時三十分~九時三十分

会員総会

午前十時三十分~十二時

倫理セミナー

「家族の絆」

午後
懇親会



倫理セミナー

十一月二日(日)

午前十時三十分

「家族の絆」

「暖かい家庭 温かい心」

講師 相馬紀子監事

全ての基礎は家庭。講師が

温かい心で話します。お友達

と一緒に出席下さい。

秋津賞特選に

草野律子さん

第八回秋津賞で草野律子さんの作品が特選の一つに選ばれました。

おめでとうございませう。

ご主人のことを詠んだ短歌を書いた作品です。入選者発表は『秋津書道』十二月号ですが、九月のご出張で矢口裕司先生が皆にお話し下さいました。

特選作品は来年一年間、各地で催される書道展、文化展を巡回した後、額装のまま返されます。草野さんの作品は来年五月の『秋津書道』の表紙を飾ります。

実は、当秋津書道会では今年、会員同士が励まし合って、これが最初の秋津賞応募だったのだそうです。その中から特選が出るという快挙。

草野律子さん、そして秋津書道会の皆さん、心よりお祝いを申し上げます。

草野律子

主人の誕生日

油臭きしごと帰りの夫の手に溢れむばかりの薔薇の花束

畑村奈津子さん

畑村奈津子さんが日本へ帰られました。五班小松和三さんのお友達で、動物介護を学ぶため、北海道からロスに研修に来られました。二月から六ヶ月間、自転車で倫理の集いに参加して下さいました。文化講演会、盆踊りにも参加して下さい、いつも若いエネルギーを倫理に下さっていました。ありがとうございます。

帰国前の朝の集いで畑村さん

は、倫理の行事に参加したことで日本では出来ない経験をたくさんさせてもらってとても楽しかった。感謝していますと話されました。

どうぞ日本でも倫理を学んで下さいますように。またいつかロスに来て下さる日を楽しみにしております。

秋津書道会 お知らせ

秋津書道会オレンジ会場は、会場の都合で借りられなくなりました。オレンジの秋津会員は倫理オフィスで共に学んで頂くことになりました。よろしくお願い致します。

しきなみ短歌会に入会

飯田隆さん（五班）
松元倫江さん（四班）
森田のりえさん（一班）
与那覇寛雄さん（五班）
尾崎よしみさん（五班）

の皆さんが「しきなみ短歌会」に入会されました。とてもうれしいです。一緒に短歌を学びましょう。よろしくお願い致します

倫理スピーチの変更

九月二十一日の役員会で、倫理スピーチの回数を減らし実践報告を増やすことが決まりました。

川田末子さんから「実践報告にもつと重きを置いたらどうでしょうか」と提案がありました。倫理の学びで一番大切なのは実践です。倫理が他の学びと違うのは「実践をする」ということです。それで、毎週もつと会員皆さんの実践報告をするようにしたい、それには今、行っている倫理スピーチの回数を減らして、その分、実践報告をするという提案です。
倫理スピーチは、橋勝雄会長

が今年度の所信表明で、スピーチ者の倫理の学びが深くなることを考慮して会長の方針として取り入れられました。そしてその成果はありましたが、更に広く会員の実践が必要でした。

役員が色々協議し、一班会員

にも意見を聞きました。その結果、その月に応じて倫理スピーチの回数を決める、実践報告は、実践報告の日は六名以上、スピーチの日は三名が行う。時間は一人五分。月番の班の会員は必ず実践報告をすること。他の会員も積極的に報告すること、などが決まりました。皆さん、実践報告をしましょう。

所歌 「世紀の歩調」

辞令交付式の日には必ず歌う、倫理研究所所歌です。新しい会員に覚えて頂きたく、毎月第一日曜の倫理頌歌に「世紀の歩調」を歌うことになりました。
作詞は丸山竹秋二代目理事長です。昭和四十二年の夏、倫理研究所・所歌の作詞を頼まれた。多くのすぐれた歌詞が寄せられたのであるが、もうひとつ、もの

足りないところがあるので、私に作るように、ということであった。

私は辞退した。思いもよらぬことだったからである。そして自信もなかった。

しかし、再三にわたるすすめで、ついに私は意を決した。及ばずながら、全力をあげようと誓った。

それから数日後、富士山のふもとにこもった。きめられた講義以外のしごとは、まったく手につかない。寝ても起きても歩いても坐っても、風呂に入っても、そのことばかり考え続けた。（中略）

世紀の歩調は、こうしたところから人間尊重大の大道を進んでゆき、世界の平和をきずいてゆこうとするもつとも勇気ある人々によって、高鳴るのである。

私はこうした気持ちで、心をこめてこの歌詞をつくったのであった。（略）

『よろこんで生きる』第四章「地球倫理の樹立」に詳しく書いてあります。お読み下さい。

実践報告

四班 川田末子

沖繩南（八重瀬、屋原支部）の「おはよう倫理塾」に八月八日から二十一日まで参加しました。毎朝五時開始の倫理塾に出席できたことは、私の中では貴重な体験のひとつです。

今回の沖繩訪問の目的は、実家の遺産相続と継承問題、そして、倫理塾に通い続けることの二点でした。

最初に驚いたことは、進行の指示に従い、私語などなく、静かな中で会が運営されていました。数人参加の子ども達も、同様に静かにしていました。

『万人幸福の葉』は、多くの人が輪読していました。一人三行程です。また、実践報告では、次々に出て報告する姿にはびっくりしました。私も五回、報告する機会を得ました。

私の帰国目的のひとつである実家の継承問題ですが、萩原専任講師にご相談したところ、実家のことより、嫁ぎ先の家の事を聞かれ、ここ二十年来、立ち寄りず、墓参りもしていないこと

を話しました。夫が、帰国の際に毎年していることも話しました。

萩原専任講師の指導は、「実家のことは、何もしなくてよい。それより、川田家の墓参りとお仏壇に手を合わせる事が、今すべきことです。そうすれば、実家もおのずと良くなります。」

前日、ふつとそのことが、頭をよぎったこともあり、すぐに切符を手配して、翌日十三日、沖繩から三重県に出発しました。偶然にも、内地（沖繩ではそう呼びます）のお盆の日でした。

十四年ぶりに墓参りをし、住人のいない家を開け、掃除をして、仏壇に手を合わせ、今までの行いを詫言、許しを乞いました。そうしたこと、肩の荷が下り、何かを成し遂げた達成感と爽快感を味わいました。机の中から、主人が母親の葬儀の後、尊い人を失った心のうちを詠んだ歌を見つけ、改めて主人の優しさで力強さを感じました。

萩原専任講師は、「女性の倫理は、継ぎ穂の倫理である」と申されました。子孫が繁栄するよ

うに日々努力することが、女性として考える倫理（みち）だということに感動しました。今回の帰国の目的を、二つとも実行することができたことに感謝しております。

日に一つ良いことの実践

一班 滝川歌子

娘の通う教会にホームレスの人がお祈りに来ます。この教会にはホームレスの人たちが利用するシャワー室の設備があります。ある日、シャワーを使っていた人が衣服を盗まれてしまいました。聞けば、サイズが丁度主人と同じなのです。それで、主人が使わなくなった衣類を洗濯し、アイロンをかけ、ボタンも直してきれいに畳みましたら袋に二つ分になりました。それを娘に託しまして、ドネーションとすることができました。物を生かすことの実践が出来て良かったと思っております。



実践が出来なかった報告

四班 矢崎由起子

私たち四班は、九月は当番でした。そのため何時もより早く支度をしてオフィスに来るようになっていました。しかし二回思うようにいきませんでした。

一つは、うちにお掃除に来るマリアが、私がうちを出る寸前電話をしてくるバスが日曜日はそこまで来ないので、今立っている角まで迎えに来てくださとのこと、で迎えに行くと、倫理のオフィスに来るのが少し遅くなりました。

もう一つは、支度している六時半に電話がなり、その友達がバケイションから帰ってきたら水道の管がこわれていて、ベッドルームが湖のようになっていたということです。電話を、忙しいからと言ってすぐ切るより、やはり、ものすごく困っている人の電話ですから話を聞いて、倫理から帰ったらお電話するからと言って切り、オフィスに行くのが遅くなってしまいました。

早め早めに用意していても、こんなこともあるのです。



おめでとぶついでにします

『しきなみ』十月号

群螢集（西東京・海外）

入選 草野律子

太陽の光を集め繁る葉の先をくるりんぷ

ド

ウのツル伸ぶ

入選 ホン史子

簡素なる吾のキッチンで夕食を作ると調

味

料も持ち来る娘

清泉集（西東京・海外）

入選 飯田隆

桜咲きカリフォルニアの花見会多くの人

種

が集い楽しむ

『秋津書道』十月号

競書

一席 咲田静子 高等部 （東京）

しきなみ短歌

毎朝の散歩で今日はどんな人の笑顔に会えるか
楽しみの日 与那覇寛雄

ひさびさに岬に立てば消えており海の彼方の
スモッグの層 森田のりえ

照れ笑いたる夫とはしゃぐ子等の声よみが
える昔の短歌に 草野律子

母の日に雪より白いガスレンジプレゼント
にと二人の娘 摺木洋子

懐かしき昭和の風が吹いている緑の宝庫コストリカの
夏 松元依子

先ず筆法次に形と強弱に細心注ぎ四苦八苦する（王羲
之・十七帖） 滝川歌子

秋晴れの一日しずかに爪を切るピンカの花風にゆられ
て 奥本洋子

十一歳の誕生祝う孫の背に時の流れの早きを思う
杉野和子

お互いに口には出さねどそれぞれに孫に救われる好々爺
かな 長谷川公子

すこしずつされど確かに息づいてクブチ砂漠は

体質改善中 塩出笑子

車窓より稜線くつきり八ヶ岳かわらぬ勇姿で我を迎え
り 井澤潤子

風呂あがりこおろぎ鳴いて夕涼み疲れと汗を風がつれ
てく 飯田隆

オリビアは従弟二人と手をつなぎドイツニーランド中
飛び跳ね歩く 梅本豊造

オリビアは恥じらうケビンの手を取り嬉しげに走る
ドイツニーランド 梅本和子

線香花火じつと火の先見つめいる打ち上げ花火にはし
やぎし孫が 門園美枝子

まだ暑き晩夏の庭の揚羽蝶ゆつくり飛ぶを飽かず見て
いる ホン史子

実のあまた季節の確かさ柿に見る揺れる心の吾はにせ
ものぞ 松永典子